

「映画の感想」

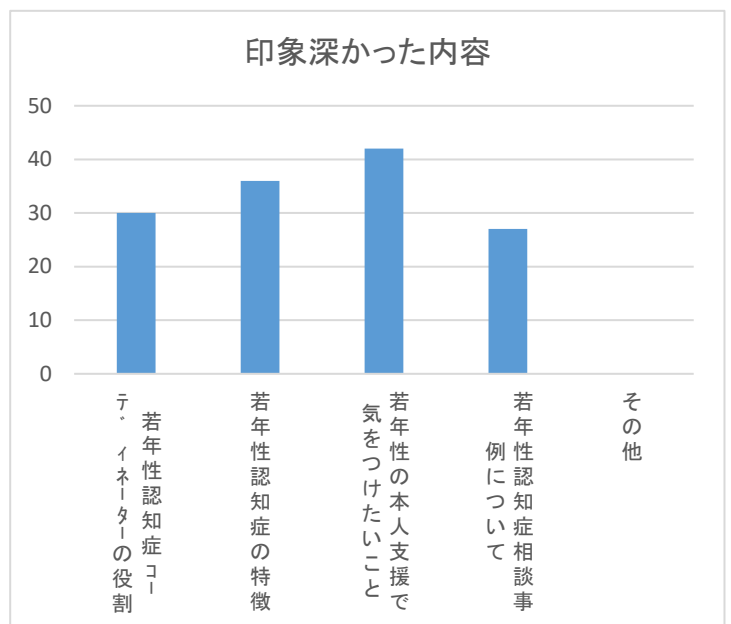
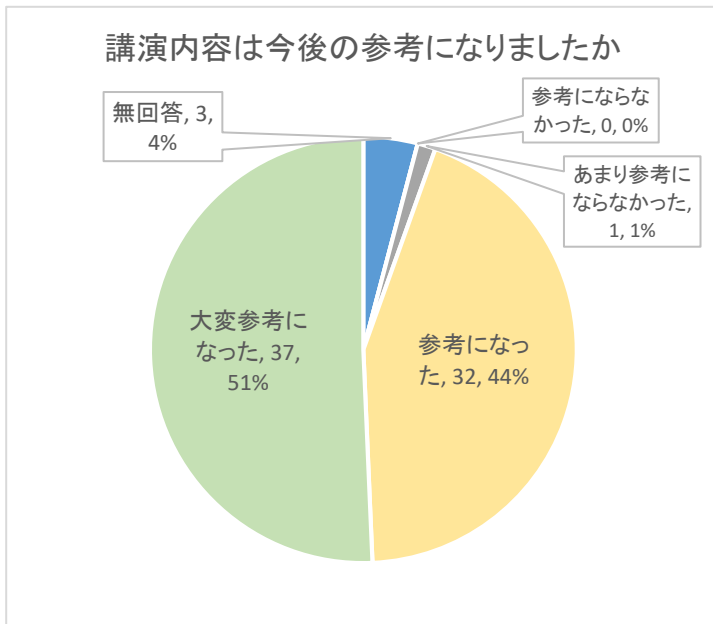
- ・看取りの部分は共感し感動しました。
- ・施設に帰って職員全体に観て頂くように、勧めたいと思います。本当に素晴らしい映画をありがとうございました。
- ・忘れかけた事を思い出しました。
- ・すごく良かったです。みんなに観て欲しい。
- ・2回目でしたが、介護のあり方について自分が出来る事をもう一度見直そうと思いました。
- ・この仕事の奥深さであったり、責任思いというのをすごく考えさせられました。自分達の対象としている方達、その家族、その方の人生全てにおいて、自分達がどのように関わるのかを考えました。ありがとうございました。
- ・考えさせられる事が多かったです。
- ・感動し涙が止まらなかったです。利用者様一人一人にきちんと向き合っていきたいと改めて思いました。
- ・私も再度、この仕事を考えたい。
- ・認知症への理解がすすんでいないので、是非多くの人に見て頂きたいです。
- ・とても良かったです。「看取りは最後まで生きのお手伝いをする事」ということが、とても印象に残っています。
- ・感動しました。とてもわかりやすいので、介護職以外の方にもスーっと入ってくると思います。
- ・よかった。
- ・以前より気になっていた小規模多機能のケア内容と看取り介護でした。勉強に大変なりました。観れて本当に良かったです。
- ・どんな最後を迎えたいのか、あらためて考えることができました。
- ・生と死に向き合う大切さを感じました。
- ・最後までその人の喜ぶことを思って、支援ができればいいと改めて感じた。
- ・介護という言葉に寄り添っていく助け合っていく考えにしていける。励まされました。
- ・大変勉強になりました。
- ・最後まで生きる事を手伝う、この言葉はとても素敵でした。
- ・若い人が介護(ケアニン)映画を観て考えてもらいたいと思います。高齢化してきたので…。
- ・日々の私たちの仕事のすばらしさを再確認できました。とても感動し、多くの方々にも観てもらいたいです。

「映画の感想」

- ・一昨年母を亡くしました。思い出して観ていました。最後は病院でしたが、この映画を観て、自宅での看取り、やっぱりしたかったと思ってます。
- ・認知の方へ接する介護の取り組み方が変わりました。
- ・小規模多機能居宅介護支援事業所に勤務していますので、内容がとても身近でした。自分の仕事を再確認、モチベーションアップにつながりました。
- ・すごくよかったです。介護をする前に観るのと、介護をしてから視聴するのでは、また違ったと思います。初心に振り替える機会をありがとうございました。
- ・看取りに関わる仕事を初めて17年になります。映画を観てから今の自分が看取りに慣れすぎてきているのではと感じました。介護ではなく、みんなが当たり前の生活を送り、最期を自然に迎える、そんな生き方をできるような社会になればと思います。
- ・直接、介護(ケア)はしていませんが、映画を通して感じた気持ちを大切に相談を受けていきたいです。
- ・介護職の方の大変さや、認知症の人との向き合い方を、改めて考えさせられました。
- ・大変よかったです。
- ・映画の内容はきれいな作りでした。シーンごとに課題に気づかされる、日々の仕事を振り返らせるものでした。生きることを手伝うという言葉など共感できるものが多かったです。最後の施設長の言葉が身にしみました。
- ・人間の生き方を考えさせられる映画だったと感動しました。こういう考え、想い、生き方を多くの人に知ってもらいたくなる映画でした。
- ・経験していくことで、いろんな人と出会い、自分に身についていくと思います。
- ・出演者一人一人の言葉が、心に響きました。
- ・とてもよかったです。私も心のこもった関わりができたらと思いました。
- ・とてもとても感動しました。
- ・とてもよかったです。泣けました。寄り添うこと、ケアとはを今一度考えさせられました。
- ・実際、事業に携わっている方には、とても共感できる内容でした。
- ・感動しました。
- ・ケアについてのあり方、介護の仕事をはじめた時の気持ち、色々考えさせられる映画でした。
- ・全ての人にケアニンを観て頂きたい。最高のケアニンになり、自分の施設に大森圭が欲しい。
- ・いろいろ参考になりました。映画のようにゆっくり介護ができる現場になるよう、国が人員規定など見直してほしいですね。
- ・とても良かった。
- ・「介護」という言葉を特別にしたくないという台詞が、印象に残りました。
- ・初心を思い出させてくれました。場面、場面で考えさせられる事が多くあった。
- ・自分自身、ケアニンのような対応ができていたのだろうかと考えさせられました。業務の忙しさを理由に、寄り添うことができていないと思った。一人一人の能力に合わせ、ケアができるように、今後していきたいと思う。
- ・介護の事を映画にしているものがないので、ものすごくよかったですと思います。
- ・良かったです。今後仕事をもっと頑張ろうと思いました。
- ・とても良かった。
- ・「ケアする人間ケアニン」タイトルが素晴らしいですね。

「今回の上映会を主催した方々にメッセージ」

- ・本当は排泄介助等、真の大変な部分もある映画も作って欲しいです。
- ・大切な気持ちを思い出しました。ありがとう。
- ・このような機会を与えて下さり、ありがとうございました。とても考えさせられ、深く学びの時間になりました。
- ・開催していただき、ありがとうございました。改めて気が引き締まりました。
- ・感動しました。認知症への正しい理解をすすめていきたいです。
- ・命の尊さを介護を通じ、改めて仕事内容等考えさせられました。残された人生に対して、向き合う大切さを改めて思い出しました。1人でも多くの人に観てほしい。高校生等にも観てほしいです。
- ・地域の方達にも観ていただきたい。(とても感動したので)
- ・いい映画をありがとうございました。
- ・日々の業務でハトでしたが、このようなすばらしい研修を受けさせて頂き、またケアニンを観てがんばろうと思いました。介護の仕事は私の生きがいです。
- ・本日はありがとうございました。中村氏の講演もとても興味深く聞きました。今後の職にも活かさせていただきます。
- ・あおいけあの加藤社長のお話しも聞くことができるきっかけとなりました。ありがとうございました。
- ・この度はありがとうございました。また機会があれば参加したいです。
- ・今、福祉関連に関わる仕事を含め、人手不足や給与のことなど度々聞きますが、その理解につながればと思います。
- ・貴重な場をありがとうございました。
- ・ケアニンはずっと観たいと思っていたので、よかったです。
- ・ありがとうございました。
- ・理想的な施設、入りたい勤めたいそんな介護が根付くためにも、これからも上映を続け、新たな作品の上映もお願いします。
- ・ありがとうございました。
- ・このような素晴らしい映画(介護職のことを認めてくれる)を上映して下さい、ありがとうございました。
- ・こんな素敵な映画をつくって下さり、ありがとうございます。
- ・とてもありがとうございました。参加させていただき感謝します。
- ・とてもいい映画でした。
- ・ありがとうございました。参加して本当に良かったです。
- ・「ケアニン」初めて観ましたが、とても良かったです。ありがとうございました。
- ・介護の本来の姿を追い求めていきたいと思います。
- ・ありがとうございました。
- ・ありがとうございました。とても良い映画でした。
- ・とても楽しく、また参加したいです。
- ・とても良い内容の映画でした。



「もっと詳しく知りたい項目や今後掘り下げて学びたい分野」

- ・様々な事例を聞いて参考にしたい。当事者の状態、Faの考え、受け取りに困難があり、10数年家から出て来れない人がいます。Faも仕方ないと諦めている感じがあり、そのようなサポートができるか、それに踏み込む勇気もFaは持てないようでした。事例を活かせるようにと思います。
- ・当事者支援の制度。
- ・うつとの関連について。
- ・当事者、家族交流会の内容と運営の仕方。
- ・若年性認知症の特徴、若年性認知症の本人支援で気をつけたこと、若年性認知症相談事例について、内容がもう少し詳しくあればと思います。医療と介護のかかわりについてなど、具体的な事をしっかり聞きたい。
- ・具体的な経済支援とは？
- ・もっと対応の仕方や介護者の心構えを知りたい。
- ・若年性認知症の治療や経過の具体例。若年性認知症の症状の進行について。
- ・相談事例について、詳しく聞きたいと思いました。
- ・本当に勉強になりました。ありがとうございます。
- ・若年性認知症交流会の北九州での活動内容が聞いてみたいです。また、その周辺の社会資源の紹介も良いと思います。
- ・若年性認知症及び高度障害者の今後を支える就労施設等。
- ・若年性認知症は何歳～何歳位まで？例えば50代で発症→気づかずに何年も経ち高齢になった場合は、通常の認知症となるのか？独居が厳しくなった際、施設はあるのか？障害者施設へ行くの？独居や身寄りのない人など。
- ・認知症予防。
- ・若年性認知症の症として、高齢者の認知症の方との接し方の違いについて、まだどういう点に気を付ければ良いかを知りたい。
- ・一般的な知識はわかっているので、具体策を知りたかった。講演者の方は説明ばかりで、特に良いと思わない。
- ・若年性認知症の経過。社会資源。
- ・一人暮らしでキーパーソンがいない独居の方の支援方法の検討等。入院の申請。保証人。

「今後の業務で活かせると思ったこと」

- ・同じ職場で働く仲間の中に、若年性の方がいます。どんなサポートをしていけば長く一緒に働けるのか、もう一度考えてみたい。
- ・高齢者、若年性のどちらも、ご本人の意志や考えを尊重し、今後も関わっていけたらと思います。
- ・早期受診をすすめること。サポートセンターを紹介すること。
- ・若年性認知症の特徴。
- ・若年性の方の認めたくないと思う心情を理解しないと先に進まない。
- ・若年性認知症の方と接する上で、本人や家族の思いや苦悩を踏まえて対応できたら良いと思います。
- ・まだ若年性認知症の方と関わった事はないですが、高齢の認知症の方とは違う関わり方をしなくてはいけないと思いました。
- ・早期の受診と適切な支援機関につなぐこと。
- ・早目に受診することの重要性→年金額にも差が出ることもあることがわかり、受診をすすめる根拠の1つにできると思いました。
- ・チェックリストなどを取り入れたり、長谷川式などを実行してみたいと思います。
- ・高齢者と若年認知症の違いを学び、今後に活かしたい。
- ・本人や家族の話しに、もっと傾聴すること。
- ・認知症の方に接する時は、納得させてから行動してもらう。
- ・一緒に働くスタッフや自分にも起こりうる病気だという事がわかり良かった。働いてる間に受診をする事も大事。経済的な面でもというのを知れてよかった。
- ・高齢者の方としかかかわりがないので、わかりません。
- ・若年性認知症への理解。
- ・早期発見、対応が大切で、周囲の気付きも必要だと感じました。
- ・現状やどこへ相談すれば良いのか知る事が出来たので良かったです。
- ・サポートセンターを知った事。
- ・私はデイサービスに勤務していますが、若い方もいらっしゃいます。高齢の方と同じサービスではダメな部分や、もっと出来る事(お手伝い)など、お願いしようと思いました。
- ・支援者が黒子に徹すること。本人が納得するまで待つことの重要性。
- ・相手の話よく聞くという事。
- ・個別対応の困難さ。早期発見、医療機関への診療の初めの大切さ。
- ・早期受診。
- ・認知症の方の対応。
- ・認知症になった方々の心の痛みを理解して、また家族も同じ痛みを持っている事を考えて、対応していきたい。
- ・いろいろな事例を通して成長していきたい。
- ・高齢者に対する支援の仕方と、若年性の方に対する支援の仕方の違いを考えながら、よりよい支援につなげていきたい。
- ・若年性認知症支援コーディネーターの対応方法。進行は個々で異なる。成年後見制度を良く考えて利用を考える(メリット・デメリットがある)。リーガルサポートに連絡する。認知症家族の心理、家族はうつ状態になりやすい。車の運転を辞めさせたいという相談が多い、支援者は黒子でいることが大切だと感じた。

「講演を聞いた感想・意見」

- ・家族の気持ちについて、本人支援について勉強になりました。
- ・わかりやすかったです。
- ・若年性認知症への理解が深まった。
- ・高齢者とは違う、若年性認知症の課題がよくわかりました。自分はどうかと不安にもなりました。
- ・セカンドオピニオンが大事ということと、初診を早く受けた方が良いとの事は、周りの人にも伝えていきたいと思いました。当事者の会で、気持ちを共有しあったりする事の大切さも感じました。とても有意義な時間でした。ありがとうございました。
- ・高齢者と若年者とそれぞれに必要な支援の知識を身につけないといけないと感じました。
- ・若年性認知症の人と、高齢者の認知症の違いが分かって良かったです。
- ・もう少し、気付きの部分やサポートについて知りたいと思いました。内容がふんわりしすぎて、もう少し詳しく知りたいと感じました。
- ・とてもわかりやすい講演でした。ありがとうございます。
- ・家族と当事者との交流会、必要だと思う。
- ・やさしくやわらかいゆっくりした話し口で、相談したいと思いました。1人でされてますが、こちらの方ではないのか質問したかった。
- ・若年性認知症…明日は我が身かもですね。
- ・よくぞこのテーマを選んでいただけたなと思った。
- ・実際、自分や家族に少しおかしいと思う所があっても、なかなかすぐに受診にと繋がらない気がする。でも初診日が、今後必要になるであろう障害年金に大きくかかわるといのは、大変勉強になりました。
- ・相談できずに今も悩んである方もいると思うので、気になる事があれば、相談できる場があるというのは、ありがたいと感じました。
- ・若年性認知症の本人や家族の苦しみの大きさが分かりました。
- ・経済、就労支援へのつなぎ方が聞いてみたかったです。
- ・ぜひまた講演があれば参加したいと思います。
- ・スライド(17)症例の年齢が知りたかったと感じます。各行政単位で、相談窓口を全ての人々に熟知して頂く工夫が必要だと思いました。又、病院間の連携も、活発に行うことが大切だと思います。少なくとも、医師会病院レベルでは、全てに窓口を設置頂きたいです。
- ・今まで漠然としか知らなかったもので、事例等聞けて良かったです。もっと世の中に知識が広まると良いなと思います。
- ・若年性痴呆症で受け入れた人たちは、自分たちの老後を考えて話ができるのかなと思った。高齢者は子供たちに迷惑をかけないようにしたいという思いがあるので、ご本人たちも強いだろうと思う。
- ・自分の業務に活かしていきたい。
- ・日々の業務の中で、もっと一人一人しっかりと接していき、小さな変化も見逃さないようにしていけないと思いました。
- ・とても興味深い話、ありがとうございました。
- ・若年性認知症という言葉や何人かの方々と関係をしましたが、本当の意味での心の痛みなどの理解はできていませんでした。

「講演を聞いた感想・意見」

- ・あまり良いと思わなかった。貴重な時間が無駄だった。
- ・具体例等も聞かせていただき、現実のモノとして聞くことができました。
- ・グループホームで高齢者に14年間関わったとの事。介護保険は高齢者がつかうものだという思い込みがある。事例を通して話しをしていきたい。若年性井認知症相談を受けている。訪問し、面談することがあり、福岡県は広いと感じている。若年性認知症支援コーディネーターとは？H29～31ハンドブック作成されてあるとの事。ぜひ見たいと思った。セカンドオピニオン、大学病院受診を勧めている。認知症とうつ病の違いについて。スケジュール管理ができなくなるなどの症状が出てくる。職場でみつきやすいが、専業主婦は発見が遅れることがある。受診を早めることが障害年金の金額にかかわること。初診日に診断名がついていなくても良いという事を知りました。認知症はできることもあるので、良い方、理解のできる方に早目につながる必要がある。

「要望・研修の希望」

- ・本日は大変ありがとうございました。介護の仕事、これからもがんばります。
- ・住民も対象とする講演会等を企画してほしい。
- ・在宅介護や看取り介護について詳しく知りたい。もっと色々と研修を増やしてほしい。
- ・働く人達の人間関係の構築の仕方も聞きたかった。モチベーションの持ち方を知りたい。
- ・認知症の方との関わりを多数。
- ・またこのような企画をお願いします。
- ・身近な事例をあげた研修が良い。